

防災特集

Part 2

11

住み続けられる
まちづくりを

災害用トイレ

の使用方法

備えて安心！
正しく使って衛生的に！

断水や停電などで水洗トイレが使えないときに使用します。日ごろから備え、いざという時に正しく使いましょう。
※自宅または避難所の便器がこわれていなかったら、自宅または避難所の便器が使用可能です。

1

設置する

人目につかない場所にテントやパーテーションを設置します。平らな場所に置き、安定させます。

2

便座に袋をかぶせる

便座に汚物袋(黒い袋)をしっかりと被せます。袋の口は便座の外側に出しておきます。

3

用を足す

いつも通り用を足します。便や尿が袋の中に入ります。

4

凝固剤をふりかける

用を足した後、凝固剤を振りかけます。(1回分に対して1袋)
※使用量は製品の説明に従ってください。

5

袋を取り出して結ぶ

袋を便座から外し、空気を抜いてしっかりと口を結びます。(中身がもれないようにします)

6

可燃ごみとして処分する

各自治体のルールに従い、可燃ごみとして処分します。(トイレには流さないでください)

快適に使うためのポイント

トイレットペーパーは一緒に使えます
使用後は袋の中に入れてください。

使用後は手を清潔に
アルコール消毒液やウェットティッシュで手を清潔にしましょう。

換気を心がける
室内の空気がこもらないように、定期的に換気を行いましょう。

子どもや高齢者にも配慮を
使い方をわかりやすく伝え、安心して使える環境をつくりましょう。

- 使用上の注意
- トイレに流さないでください
水洗トイレが使えるようになるまで、流すと詰まりの原因となります。
 - 凝固剤は必ず使用してください
においや汚物の液もれを防ぎ、衛生的に処理できます。
 - お子さまだけの使用は避けてください
必ず大人がサポートしてください。
 - 使用後の袋はしっかりと結び、口を閉じてください
においや感染症対策のために重要です。

使用後の処分について

避難所のルールに従って処分してください。
処理後の汚物は「可燃ごみ」として扱われます。

処分の例

袋をしっかりと結び

可燃ごみとして
ごみ置き場へ

- 備えておきたいもの(例)
- ✓ 簡易トイレ本体・便座
 - ✓ 汚物袋(黒い袋)
 - ✓ 凝固剤
 - ✓ トイレットペーパー
 - ✓ ウェットティッシュ・消毒液
 - ✓ ごみ袋
 - ✓ 手袋(必要に応じて)

在宅避難

を知ろう

自宅で安全を確保する
避難のかたち



安全の確認

- 家具の固定
- 窓・ブロック塀の確認
- ハザードマップの確認

水害
ハザードマップ

備えの充実

- 食料・水の備蓄
(目安:3日分～1週間分)
- 非常用トイレ・衛生用品
- 常備薬・モバイルバッテリーなど

情報の確認

- テレビ・ラジオ・スマホで
情報収集
- 自治体の防災情報を確認
- 家族で連絡方法を決めておく

東淀川区
公式X

大阪
防災アプリ

!

無理せず、危険を感じたら避難所へ。
自分と家族の命を守る行動を。

!

在宅避難も避難者です。一度は災害時避難所へ行き、災害時避難所の名簿に、在宅避難者であることを登録しておきましょう。
また、定期的に災害時避難所へ行き、災害情報などを確認しましょう。

令和8年5月29日より

気象の警報などが
変わりました

- Point 1
- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されてます。
- Point 2
- 河川の氾濫の危険度の変わり方が変わりました(特別警報の新設など)。
- Point 3
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます。

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			